

日本共産党 市議会だより

2月定例会報告

第8号 2023年4月

【発行：日本共産党掛川市議団】

・勝川志保子
22-1325
・大井 正
(090)9918-4515
ご意見・ご要望
お寄せください



◎来年度予算審議から 補聴器購入助成制度創設!

1879筆の署名を添え、「補聴器の公的補助を求める掛川の会」が請願を議会に提出したのが一昨年8月。紹介議員になると同時に、共産党議員団は議会でも再三取り上げてきました。今回、所得制限も緩く、年齢も40才からと認知症予防への対策として850万円2000人分の予算が付きましました。待たれていた助成が実現でき本当によかったです。6月の「広報かけがわ」で制度の詳細が載る予定です。



議長に署名を提出
(2021年8月)

子どもの医療費 18才まで完全無料に(10月から)

県の制度に上乘せする形で、完全無料化が実現します。5年前に提案した時は、口を揃えて「必要ない。安易な受診が増える」と議員は皆さん反対でした。「子育ては社会が担う」という意識変革の一步です。ふるさと納税市長裁量分が松ヶ岡整備以外に充当される初めての事例です。市民の声が政治を変えます。



共産党議員団は 2月定例会 2つの 予算修正案を提出

前回選挙で議員が(一人↓2人)となり、共産党市議団で議案提出権を得ました。

①学校給食費の保護者負担増を、ふるさと納税の基金から
の充当で中止する修正案
市長裁量分を積み立てた基金から、611.2万円を取り崩して値上げをやめさせる ↓ 少数否決

②国保会計の国への返還金を認めない修正案

人間ドックの基本健診分の助成金3180万円を返還するよう指導が入りました。調べましたが、職員の不正やミスはなく、国の指導不足等によると判断し、基金から返還金3180万円の支出をやめる ↓ 少数否決

【2022年度政務活動費収支報告書】

会派名 日本共産党議員団
1 収入 600,000 円(2022.4.1~2023.3.31)
2 支出

科目	金額	備考
調査研究費	0	
研修費	142,100	オンライン研修(勝川・大井各3回)
広報費	244,312	議会だより4回発行
広聴費	0	
要請陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	16,580	書籍購入
人件費	0	
事務所費	16,368	会派室インターネット回線使用料
合計	419,360	

3 残額 180,640 円
政務活動費通帳利息 4 円
180,644 円

コロナの影響で現地視察や研修会の参加ができませんでした。代わりにオンラインの研修に参加しています。今年度は市政報告会なども開きたいと思っています。

◎一般会計予算など8議案に反対 討論で指摘した点

- 学校給食の値上げ反対。無償化にこそ舵を切り、子育ての社会化を。部活の地域移行も受益者負担の考え方。義務教育の無償化に逆行する。
- 学校の統廃合・再編、公共施設の民間譲渡や統廃合は地域の衰退や住民サービスの低下を招く
- 開発優先・大企業優遇を改めて地域でお金がまわるような中小企業支援で地域循環型経済を
- カーボンニュートラルの実現のためにも、電気代高騰に対処するためにも、太陽光パネルの設置、照明のLED化などをもっと前倒しして進めよう
- マイナンバーカードの取得より押し、民間デジタル人材の導入などが、自治体の独自施策を奪いかねない。個人情報保護なども心配。
- 税金の取り立ての前に寄り添った生活相談などで福祉の充実を
- 住民要望の高いインフラ整備や維持管理の充実を
- 国保・後期高齢者保険・介護保険などは負担を軽減し、サービスの充実を

すべての議案が可決。反対討論をするのは私たちの会派だけです。給食費値上げ賛成など、議会が市民の方を向いていないことを改めて感じました。



《今後の掛川市議会の予定》

☆5月臨時会 5月16日
新しい体制を決めます。

☆6月定例会 (6月8日~7月4日)
一般質問は20日・21日・22日です。
民主的な議会運営を求めます。



◎ 財源はあります ◎
ふるさと納税「その他市長が必要と認める事業」6年間分(2016年~2021年) 約6.4億円

松ヶ岡整備 約7千万円
基金に積立て 約5.8億円
活用を提案

◎学校給食の保護者負担値上げの中止を求める請願(新日本婦人の会掛川支部提出)
● 文教・厚生委員会 ↓ 否決
賛成は勝川議員だけでした
● 本会議 ↓ 否決
賛成は勝川・大井議員だけ
会派で紹介議員を受けました。財源をつくり無償化を進める自治体も増えている時に、子育て世代に負担増を押しつける市。

◎第3セクター(株)森の都ならこの継続を求める陳情(掛川市森林組合提出)
● 環境産業委員会 ↓ 否決
賛成は大井議員だけでした

市は、中山間地の振興に大きな役割を持ってきたならこの里を民間譲渡する方向です。営利優先になれば公共が担う役割に責任が果たせなくなります。災害も多発する山間部の安心安全のために、赤字でもないキャンプ場や入浴施設を安易に民間経営に委ねる必要はないと考えています。



修正案採決結果 (賛成○ 反対×)	創世会										新しい風		SKK*	共産*	共掛*	志*					
	松本均*	安田彰	石川紀子	鷺山紀世	高橋篤仁	山田浩司	藤原正光	寺田幸弘	山本裕三	二村禮一	橋本勝弘	松浦昌巳	額岡慎悟	藤澤恭子	窪野愛子	山本行男	大井正	勝川志保子	鈴木久裕	富田まゆみ	草賀章吉
①給食費の値上げを中止する	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×
②国保会計への返還を認めない	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×

*松本議長は、採決には参加しません
*SKK▶市民派・公明倶楽部
共掛▶共に創る掛川 志▶志誠会

掛川市と隣接する市町の学校給食費の保護者負担額比較(1食当り)

	森町	袋井市	掛川市	菊川市	御前崎市	島田市
昨年度	小 258 円 中 301 円	250 円 300 円	264 円 315 円	261 円 299 円	無償	274 円 327 円
新年度	小 据え置き 中 据え置き	280 円 350 円	296 円 353 円	据え置き	無償	据え置き